

平成30年9月2日
今週のベストショット



青松園A 塩浜ジャガーズ 対 三苦ホーネッツ戦
6打席5打数4安打3HR7打点2盗塁の荒稼ぎ、ホーネッツ一番・堺恭祐選手。

写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎

青松園A ホーネッツ大量得点で圧勝！

塩浜ジャガーズ（3勝7敗） 10110 3 末永●、道喜、水流一小金丸

三苦ホーネッツ（8勝1敗1分）17157× 30 川原○-広木、堺（恭）

HR：堺（恭）3、稲葉2、矢野（雅）（三苦ホ） 3BH：堺（恭）（三苦ホ）、

2BH：井出2、堺（厳）、矢野（雅）、川原、松尾（三苦ホ）、小金丸（塩浜ジ）

盗塁：堺（恭）2、稲葉、広木、川原（三苦ホ）

雨あがりの青松園A、ジャガーズの先攻で始まったこの試合。まず初回、ジャガーズは先頭竹尾選手が四球で出塁し、その後三塁に進むとWPで難なく先制。対するホーネッツは先頭の堺（恭）選手が四球で出塁、一死後、稲葉選手の適時打ですかさず同点に。その後、ジャガーズ末永投手の制球が乱れ四球を連発。ここで道喜投手が急遽登板するも、中角選手の適時打を皮切りに2本のHRを含む8連続安打、打者3巡、この回17得点の猛攻を浴びてしまう。二回からは水流監督自らマウンドに上がり、なんとかホーネッツの攻撃を阻止しようとするも、その後もホーネッツの攻撃は留まることなく、終わってみれば計30得点。中でもホーネッツの堺（恭）選手は柵越え1本を含む3HRと三塁打1本と大活躍。ジャガーズは川原選手から7安打を放ち、3得点するもあまりにも点差が大きくホーネッツの圧倒的大勝利でした。（記事・写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎）



三苦ホーネッツ先発の川原投手。



塩浜ジャガーズ先発の末永投手



一回裏、盗塁を決める堺（恭）選手。



一回裏、適時打を放つホーネッツ中角選手。



一回裏、ピンチに集まるジャガーズ内野陣。



この日は強烈な打球がジャガーズを襲う。



ジャガーズリリーフの道喜投手。



この日3HRの堺（恭）選手の豪快なスイング。



必死に守るジャガーズ内野陣。



フライを好捕する塚（敵）一塁手。



意地の三塁打を放ったジャガーズ小金丸選手。

試合	対戦相手	勝	敗	打点	得点	安打	本塁打	二塁打	三塁打	四球	盗塁	犠打	犠飛	エラー	投手	打者
1	対 塚 (赤)	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	0	伊藤	三好
2	対 井	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	伊藤	三好	
3	対 桶	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	伊藤	三好	
4	対 木	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	伊藤	三好	
5	対 野 (雅)	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	伊藤	三好	
6	対 川	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	伊藤	三好	
7	対 森	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	伊藤	三好	
8	対 菅	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	伊藤	三好	
9	対 向	○	△	10	6	26	6	6	1	0	0	0	0	伊藤	三好	

30得点が這入ったホーネットスのスコアブックは赤だらけ。

ほか3試合は、前日の雨の影響でグラウンド不良のため中止。

第18週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ!

第18週、9月2日は前日の雨の影響でグラウンド状態が悪く3試合が中止。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対三苦ホーネットス戦は、無安打で先制したジャガーズではあったが、ホーネットスの猛打が大爆発。HR6本、三塁打1本、二塁打6本など計26安打30得点を挙げた。ジャガーズも8安打と奮闘はしたものの、失点が大きすぎた。

10試合を消化するチームもあり、今年は比較的順調に試合を消化している中での3試合中止は痛かった。天気は良かっただけにグラウンド状態が恨めしい。

9時から壮年ソフト東区大会が行われ、奈多サンデーズを中心とした奈多団地チームが見事優勝した。

9月8日は、運営会議後に毎年恒例の「G.O!D.O!飲み会」。総勢27名が参加予定。残りのシーズンに向けた有意義な交流が出来たらと思います。

WSLの皆さんも、残りの試合顔晴りましょう!